

提　言　書

かいてきな「環境のまち」部会

テーマ：自然環境の保全をキーワードに心豊かなまちづくり
～身近な花づくりや、自然資源・景観を活用し、地域コミュニティを推進することにより、人と自然が調和した心豊かな美しいふるさと新見を創造する～

1 はじめに

近い将来の急激な人口減少と超高齢化社会が全国的な課題として、様々な施策を模索検討が始まった中で、本市のような中山間地域では併せて過疎化が急速に進んでおり、地方の存亡が叫ばれています。

本市、第2次新見市総合振興計画では将来都市像に「人と自然が奏でる安全・快適・情報文化都市」を掲げられており、将来にわたって住んで良かったと実感できるまちは、安全・安心で快適な生活環境が整っていることと本市に対する誇りと愛着を持ち、豊かな自然や伝統文化の恩恵を自覚しながら生活していくことで、将来にわたる夢と生きがいが生まれ、希望に満ちた笑顔あふれるまちが実現していくと記述されています。また、新見市創生総合戦略でも次世代を担う子どもたちにふるさと新見の自然や歴史、文化などの地域に根ざした特色ある教育の推進を掲げています。

2 課題

そこで、今回の提言は快適で豊かな生活とは、一つ目は安心で生きがいのある一人一人が活力ある生活環境を整えること、二つ目は子供から高齢者まで一緒にあって美しいふるさと新見を創造・活動をすることにより、子どもたちに郷土を愛する心、郷土を誇れる心を養い将来の本市の発展と活力ある地域づくりの人材を育成することが必要と考えます。

3 提言の方針

身近な花づくりや自然資源・歴史や文化財の保全・保護を地域住民、子どもから高齢者まで一緒にあって活動することにより、地域のコミュニティが強化・確立され、子どもと大人の関わりや住民同士のつながりが深まることで、教養を高め・生きがいや心豊かな生き活きとした生活をおくることができます。ひいては、地域での助け合い、子育てや障害のある方への支援、介護など地域ぐるみで展開していくことが期待され

ます。併せて、美しいふるさと新見をつくり、新見に愛着を持ち、住みやすいまちづくりに取り組むとともに情報発信することにより、観光や定住化へつなげたいと考えます。そして、行政としても、こうした活動に支援をするとともに、自然をキーワードに産業振興や教育、福祉、観光や定住化の促進等に施策を展開して将来都市像を目指していただきたい。

4 提 言

① 地域での花づくり等の支援について

子どもから高齢者まで一緒に花づくりや自然資源、歴史・文化的遺産などの保護、保全等地域が一体となってふるさとを守り、育て継続して取り組む活動に対し支援する。

- ・目的は地域活動を通じて、コミュニティの強化と生きがいのある支え合う地域を創造し、子育てや介護等含め地域での繋がりを強め、活き活きとした生活環境を整えて、安心して暮らせるまちづくりを推進する。
- ・活動の支援対象は、子どもや高齢者も気軽に参加できる小集落単位からとして活動内容によっては対象を拡大する。
- ・活動参加対象は、子どもから高齢者までの地域住民として幅広い構成とする。一緒に活動することにより地域での繋がりが強化され、特に子どもたちは地域に愛着を持つと考える。
- ・支援の内容は、活動費に対する助成（できるだけ高率な助成で継続して取り組み易くする。）と地域活動を行政施策として推進することを市内外に発信すること。現在「地域づくり推進事業補助金」等類似の助成制度があるが、これは活動を希望・実施する者に対する助成で、市民の自主性を育てる点では良いけれども、市全体としての盛り上がりが見えにくいと思われる。市が前面に出て活動や支援の目的を明確に掲げ、地域間の連携や情報交換等行政と市民が一体となって推進することにより、事業の目的やふるさと新見を守り育てる心を市民一人一人が持つための意識改革もできると考える。

② 自然環境等の保全策について

新見市の主要な花・植物等について計画的な保全の確立と住民等との協働による保護活動への支援を行う。

- ・具体的には、新見市発行の総合観光パンフレット裏表紙「にいみ花ごよみ」に掲載されている植物、新見市の希少植物に指定されている植物については、自生地の保護・保全活動に取り組む組織団体を育成、強化するための支援策を講じて将来に引き継ぐ。

③ 情報発信を観光等につなげる。

美しい新見を情報発信することにより、快適生活環境をアピールして観光人口の増（体験型含む、ルートの提案や個人管理の庭園の活用（オープンガーデン）等）や定住化へとつなげる。

- ・市内の美しい庭園や公園、文化財、自然資源等市の財産をまとめ、四季折々の観光ルートを提案し発信する。また、地域住民間で交流し美しいふるさと新見を市民が共有する。

④ まちづくりの人材育成について

①の活動と子どもの教育にも新見市の歴史や文化、貴重な自然等を取り入れ、将来を担う子どもたちに美しい新見、誇れる新見をもつ心を養うことにより、将来の定住やUターンに繋がる地域の活力を生み出す人材を育成する。

⑤ 自然環境の保全をキーワードに行政施策の展開について

行政施策としては、自然をキーワードに美しい新見を創るために、耕作放棄地の解消、森林や里山整備、雇用の確保、自然にやさしいライフラインの整備、防災対策、ゴミ対策や水資源の保全等々広範な施策を展開し、その成果を市内外に発信する。

5 おわりに

「人と自然が奏でる・・・」ということで、充実した心豊かな生活環境を整備するためには、人との繋がり、生きがいが重要であり、地域コミュニティの強化・確立、子どもたちの心に美しいふるさと新見を養う。など自然資源を保全、保護する活動を進めることにより、まちづくりを進めることができると考えたところであり、各種行政施策を展開する一つの考え方を示したものであります。人口減少問題という大きな課題があるが、私たちを取り巻く小さな生活環境の中で、今後、充実した人生を送るために、小さくてもキラリと光る一人一人の心が繋がるまちづくりを次世代につなげたい。

以上